

1 小樽温泉



小樽港新日本海フェリーターミナルビル内の温泉施設。4階と5階に浴場（写真左の窓）があって小樽港を一望。船便に合わせ早朝4時から営業、再入浴可能と乗船前の時間調整に便利でしたが現在は閉館。

2 ニセコ五色温泉



良質な温泉が多いニセコの中でも屈指の温泉。男女別の内湯と露天風呂を大小各二箇所備えた温泉宿。ニセコアンヌプリが眼前に広がるロケーション（ただし羊蹄山は望めない）。同敷地内の源泉も見学可能。入浴料は700円。

3 蟠溪温泉オサル湯



長流（おさる）川の川岸に湧き出る蟠溪（ばんけい）温泉。写真の湯船のほか、増水すると川に沈む川原でも、自分で石を積んで湯船を作って入れるワイルドな野湯。湯温は川の水を引いて調節。入浴は無料で脱衣所等はなし。

4 初山別温泉岬の湯



天文台やキャンプ場などを備えた、みさき台公園の一角にある温泉施設。打たせ湯やジャグジーなどの浴槽のほか、日本海に開けた露天風呂からは利尻島も見える。写真は隣接のキャンプ場とみさきの灯台。入浴料は500円。

5 浜頓別温泉ウイング



炭酸水素イオン含有の泉質で、同泉質では別府温泉に次ぐ国内2位との案内書き。内湯からはクッチャロ湖を望む（露天風呂はなし）。北海道の温泉の底力を痛感させられる極上湯。写真は隣接するキャンプ場（200円）。入浴料は500円。

6 中岳温泉



旭岳の山中に湧き出る徒歩でしか行けない野湯。湯船は浅めで足湯としての利用が一般的な様子。私は全身入浴するつもりだったが、女性を含む先客が足湯しながらランチしていた為、不発に終わっている。入浴はもちろん無料。

7 吹上露天の湯



ドラマ『北の国から』で五郎さんとシュウさんが混浴し、一躍人気が出たと言う十勝岳中腹、標高1000mにある温泉。大小二つの湯船あり、源泉は熱めなので寒い時でもポカポカ。私の入浴時は貸切だった。入浴料は無料。

8 十勝岳温泉凌雲閣



標高1280m、道内では高地に位置する通年営業の温泉宿。大きな岩を配した内湯は2種類の源泉からなる湯船。露天風呂からは十勝連峰の山を眺められる絶好のロケーション。外来入浴は800円（冬期は600円）。

9 層雲峡温泉黒岳の湯



層雲峡温泉街にある公共入浴施設。露天風呂、サウナ、水風呂もある。筋肉痛に効果もあるらしく、大雪山や黒岳ハイキング後にも最適。ほか、層雲峡界隈のホテルで日帰り入浴可能。

入浴料は 600 円 (写真は無料の足湯)

10 大雪高原山荘



標高 1350m、冬期は休業する山の中の秘湯宿。乳白色の硫黄泉、露天風呂、風景とも文句なしの湯。大雪山系の登山口でもある。私は営業最終日に貸切で入れたが、紅葉最盛期にはマイカー規制となる人気湯。

入浴料は 700 円。

11 岩間温泉



石狩岳の奥深い山の中、音更川を川渡しして辿り着く北海道を代表する秘湯。写真以外にも湯船がいくつかあり、中には源泉が異なる湯もあると言う。脇を流れる音更川では溪流釣りも出来るが、私は釣れなかった。入浴はもちろん無料。

12 むかびら温泉湯元館



糠平温泉郷の老舗温泉宿。内湯は広く、溪流沿いの露天風呂（混浴）は雰囲気もグッド。熱めの源泉は加水なしの掛け流しなので、北海道と言えども真夏の日中は熱いので夕方以降が最適で、恐らく冬も良い。

入浴料は 500 円。

13 然別湖水上周辺温泉



1 月末から 3 月まで氷結した然別湖上に開催される冬の一大イベントの氷上周辺温泉村。

特集ページを別記。

14 十勝川温泉



太古の植物が堆積した亜炭層から湧き出るモール温泉は世界的にも珍しく、北海道遺産に認定されている。美人の湯とも呼ばれる赤褐色の湯はすべすべ。循環式の湯でも満足できるでしょう。

入浴料は 1000 円～。

15 新冠レ・コードの湯



競走馬の聖地にあるログハウス作りの大きな温泉宿泊施設。海方面に開けた露天風呂は開放的で、五時からの朝湯営業も有難い。近くに静内温泉もある。

入浴料は 500 円。

16 三石昆布温泉



三石海浜公園、道の駅、オートキャンプ場も隣接する大きな温泉宿泊施設。設備も良く料金も安い、一説によると温泉ではないという噂も。夏場は海水浴客で賑わう様子。

入浴料は 440 円。

17 網走温泉



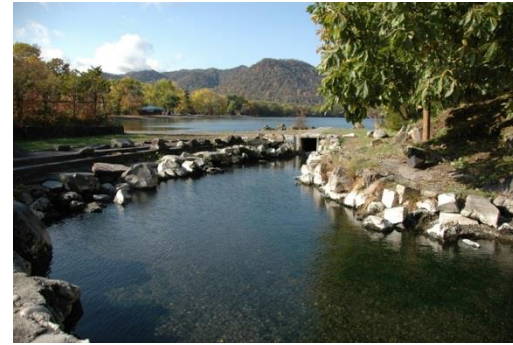
網走湖を一望する温泉地は温泉街と言うよりリゾート地の雰囲気が漂う。何れの温泉施設（宿）は、浴場の作りや付属設備、サービスに力を入れている印象。写真は網走監獄の囚人風呂。
入浴料は 500~1000 円。

18 オンネトー温泉京福



湯船の底の小石の間から噴出する透明な湯の内湯と、石油臭が漂う乳白色の広い露天風呂が名物でしたが、残念ながら現在は休業中。隣にある野中温泉も有名で雌阿寒登山後の立ち寄りに便利でした。
現在休業中。

19 和琴温泉



和琴半島の公園の中にある。そら豆型の大きな湯船の底から温泉が湧き出す。日中の入浴は見せ物になる覚悟も必要ながら（私は入りましたが）、夜や早朝は入浴客で賑わう様子。夏場は一部で藻も発生するが石油臭のする湯は悪くない。入浴は無料。

20 コタン温泉



北海道でも特に有名な屈斜路湖畔の人気の温泉。中央の岩で男女を区切っているものの実質混浴状態。かすかに石油臭が漂い、湯冷めし難い温かな湯。冬は白鳥を眺めながら入浴出来る。管理さんに感謝しマナーを守って楽しみたい。入浴は無料。

21 イソ湯



天然の湯船になっている湖畔の岩の割れ目から適温の湯が湧いている。湖面とほぼ同じ高さなので、まるで湖に浸かっているような感覚。開放的なロケーションだが観光客の目に付き難い場所なので日中の入浴も比較的容易。入浴は無料。

22 砂湯



湖畔の砂地を掘れば温泉が染み出してくる。ただし、肩まで浸かるほどの深さまで掘ることは困難。写真の湯船もあるが、観光客も多く、日中の全身入浴は覚悟が必要で、足湯としての利用が一般的な様子。入浴は無料。

23 川湯温泉



硫黄泉、明ばん泉、その混同など、施設（宿）によって微妙な泉質の違いはあるようですが、天下の名湯・草津温泉が引き合いに出されるように、強酸性の湯は北海道随一と言われる北の名湯。湯量も豊富。外来入浴は 500 円～。公衆浴場は 200 円。

24 川湯温泉 足湯



北の名湯・川湯温泉街のメインストリートにある足湯共同浴場。全体的に、阿寒湖温泉ほど俗化されておらず、リゾート感を良い感じに取り入れた温泉地の印象。屈斜路湖や硫黄山、摩周湖にも近く、弟子屈ラーメンも美味しい。足湯は無料。

25 ウトロ温泉国民宿舎桂田



オホーツク海に面した和風宿の温泉。露天風呂からは海に落ちる夕日が好評で、冬期は流水温泉もあるらしい。ウトロの温泉宿は何れもオホーツク海に面しており、またどの宿も桁違いに充実の食事の世界遺産の好循環を実感する。入浴料は600円。

26 岩尾別温泉ホテル地の涯



羅臼岳の登山口となる岩尾別のホテル地の涯。男女別のタイル貼りの内湯のほか、野外に設置の丸太をくり貫いた源泉風呂や岩を配した大小露天風呂は混浴です。入浴料は800円で、営業しない年もある様子。

26 岩尾別温泉 露天風呂



地の涯の敷地内にある露天風呂。温泉の流れる川が岩の窪みに流れ込み、それが三段の天然の湯船を形成。奥には女性優先の滝見の湯もある。入浴者以外の観光客も多く、さすがは世界自然遺産知床。入浴は無料。

27 熊の湯



地元の漁師さんや観光客に人気かつ北海道でも有名な野湯。熱めの湯は透明だったり白かったりするらしい。海で冷えた漁師さんのために水で薄めるのはご法度。道路向かいにある国設キャンプ場も人気。入浴料は寸志で男女別。

28 セセキ温泉



満潮時には海中に沈むと言う、海岸に突き出た岩礁に適温に沸く湯船が二つ。目の前に国後島が見える抜群のロケーションを誇る北海道でも有名かつワイルドな野湯。個人宅私有地にあるため、番屋の方に一声掛けてから入浴。入浴は寸志。

29 養老牛からまつの湯



養老牛温泉街の奥のパウシベツ川沿いに沸く野湯。石を積んだ湯船には激アツな湯が注がれているので、バルブの水か川の水で調節。脱衣所は男女別だが、小さめな湯船は混浴なので女性の入浴は厳しい印象。入浴は無料。

30 川北温泉



保養所跡地に残った湯船を利用して、地元有志が復活させたと言う山の中の温泉。熱めの乳白色の湯は飲湯も可能で、湯温は沢の水で調節される。たまにクマも出るらしいが、湯は素晴らしく、復活させたのも納得の文句なしの名湯。入浴は無料。

温泉入浴の小技など

* 貴重品入れがない温泉での管理方法
貴重品類はジプロックなどビニール袋に入れて、入浴時は手元か、良く見える場所へ置いておくと良い。これは北海道の温泉に限らず使えます。
* 野湯や秘湯は混浴が多い
女性は湯あみ着や水着があると良いでしょう。

注: これらは以前に作成した温泉データです。入浴料などは2017年10月現在で再確認していますが、閉鎖や休業中の温泉もありますのでご注意ください。